

お祝いのことば



岡山市長 大森 雅夫

岡山市おやこクラブネットワークが結成40周年という大きな節目を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

岡山市おやこクラブネットワークにおかれましては、小・中学校区ごとにあるおやこクラブを総括し、また、長年にわたり、関係機関と連携しながら地域に根差した多様な活動を継続しておられますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

近年、少子化の進行や地域のつながりの希薄化、またSNSの普及など、子育て家庭を取り巻く環境は大きく変化しています。このような状況の中で、身近な地域で子育ての不安や悩みを語り合い、共に学び合い育ち合う場であるおやこクラブの活動は、多くの子育て家庭にとって大変心強い存在であるとともに、地域からも大きな期待を寄せられています。

本市におきましても、こども基本法関連法令に基づき令和7年3月に策定した「岡山市こども計画」を推進し、こどもたちが健やかに育ち、安心して子育てができるまちづくりに取り組んでいるところです。その実現に向けて、おやこクラブの皆さまが果たされている役割がますます重要になると確信しており、今後もお力添えをいただきたいと考えております。

最後になりましたが、この度の40周年を新たな出発点として、岡山市おやこクラブネットワークが世代を超えて受け継がれ、益々ご発展されますことを祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



岡山市保健所 所長 松岡 宏明

おやこクラブ40周年、心からお祝い申し上げます。10年前の30周年のとき、私たちは「ネットのつながりが広がるなかでも、リアルな人との結びつきがますます大切になる」とお話ししました。この10年、とりわけコロナ禍を経て、人と直接会い、同じ空間で息づかいを感じる時間の価値は、みんなの中でぐっと重みを増したと思います。

おやこクラブは、子どもの居場所であると同時に、お母さん自身が「ここにいていい」と思える居場所でした。そんな「居場所づくり」が、いまや地域づくりの主役です。人は支援だけでは育たず、つながりの中でこそ力が湧いてくる。そのことを、この場はずっと実践・実証してこられていたものでしょう。

世代間交流も、単に「大人が子どもを支える」という一方向ではなくなっています。子どもたちは、やがて地域の行事を手伝い、おとなの心を動かす存在でもあります。「子どもだから守られるだけ」ではなく、「子どもだからこそ場を豊かにする」。おやこクラブは、その可能性を自然に育んできた場でもあります。

そして、役を担った方が地域で活躍していく“ジャンプ台”としての力も、相変わらず健在です。人が育つ場所は、地域を育てます。

これからも、「出会える地域」、「気にかけてもらえるまち」であるために、おやこクラブの輪がゆっくりでも続いていくことを願っています。40周年、本当におめでとうございます。

お祝いのことば



おやこクラブ活動に期待するもの

岡山市愛育委員協議会 会長 辻 正子

岡山市おやこクラブネットワーク発足40周年を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。長年にわたり、地域の親子のつながりやこどもたちの健やかな成長を支えてこられた皆さまのご努力に、深く敬意を表します。

おやこクラブは、昭和の時代から「地域全体でこどもを見守り育てる」温かな文化を育てられました。その歩みのそばには、母子保健活動を担う私たち愛育委員もともにあり、親子の笑顔を支えあってきたことを誇りに思います。

保護者の皆さんが自主的に運営されるおやこクラブは、アイデアを持ち寄って活動され、お子さんを抱えながらの活動は大変な面もあるかと思えます。しかしその分、保護者同士の連帯感や達成感につながると思えます。このような活動を通してできた仲間は、おやこクラブを卒業後も、地域の中で長くつながっていく貴重な仲間になります。きっとよい経験につながりますので、おやこクラブの活動を楽しみながら前向きな気持ちで取り組んでいただきたいです。

これからもおやこクラブの活動が、世代を超えて人と人を結び、笑顔あふれる地域づくりへと広がっていくことを願っています。私たち愛育委員も、引き続きおやこクラブの活動を支えてまいります。

結びに、岡山市おやこクラブネットワークのますますのご発展と皆さまのご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。



おやこクラブ活動に期待するもの

岡山市栄養改善協議会 会長 坂本 宏子

岡山市おやこクラブネットワーク結成40周年を迎えられ、心からお祝い申し上げます。長年にわたり、子どもたちの健やかな成長とともに、地域の中で、子育てのネットワークづくりにご尽力されておられますことに、深く敬意を表します。

さて、昨今の社会情勢に目を向けますと、食事は質よりも効率が求められたり、家族構成の多様化や個食・孤食の増加、さらには食に関する情報があふれたり、こどもたちを取り巻く食の環境は大きく変化しています。

未来を担うこどもたちの豊かな心と元気な体を育むためには、単に栄養を摂るだけでなく、ともに食べる楽しさ、旬の食材に触れてその魅力を知ること、そして何が正しく、何が必要な食なのかを見極める力、いわゆる「食育」が欠かせません。

岡山市栄養改善協議会は、おやこクラブの皆さまとの交流をとおり、互いに食の知恵を分かち合い、食を通じた豊かなおやこの時間が過ごせるよう、食育活動に取り組んでまいりました。今後も引き続き、皆さまとともに、楽しく、実りある食育活動を進めてまいりたいと考えております。

貴会の末永いご発展と皆様の更なるご活躍を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

歴代会長からのメッセージ



おやこクラブ活動の思い出

平成14年度 岡山市おやこクラブネットワーク会長 丹生 慶子

私が入会したのは約25年前。関東から岡山に嫁ぎ、知人も友人もない中、四世代同居で初めての子育てに戸惑う日々でした。そんな折、公園で出会ったお母さんに誘われ入会したのがおやこクラブでした。ここで初めて「ママ友」ができ、同じ悩みを語り合える仲間に出会えたことは大きな支えでした。さらに、長女が小学1年生で不登校になった時期、長女を会に連れて行っても誰一人咎めることなく、私たち親子を温かく受け入れてくださいました。その優しさに救われ、涙が出るほど嬉しかったことをよく覚えています。

少子高齢化が進み、情報があふれるデジタル社会だからこそ、顔を合わせて共に過ごし、悩みや喜びを分かち合えるおやこクラブの存在は、これからますます貴重なものとなるでしょう。40年の歩みに深く敬意を表し、これからも親子にとって安心できる居場所であり続けることを心より願っております。



おやこクラブ会員のみな様へ

平成25年度 岡山市おやこクラブネットワーク会長 上里 安裕美

岡山市おやこクラブネットワーク創立40周年おめでとうございます。

私が実行委員長をしていたのは30周年の時で、あの頃小さかった我が子は今年16歳、高校生になりました。あの時からもう10年も経つのだなと改めて時間の早さをしみじみと感じています。

このお話をいただいてから久しぶりに30周年の記念誌を引っ張り出して見てみるとあの頃、同じようにむしゃらに子育てをしていたたくさんの仲間がいて懐かしく感じました。

その冊子のはじめの言葉として「子育ては親育ち」と書きました。これは今も私の中ではブレておらず、子育ては親育ちと日々感じています。お子さんが1歳になれば保護者も1歳です。焦らずにゆっくりと「アンダンテ」の気持ちを忘れずに。辛かったらホッと一息休んで大丈夫ですよ。

今子育て真っ只中の皆さんはちょっとしたことに悩んだり嬉しかったり一喜一憂されていることと思います。皆さんが思っている以上のスピードで子育ては意外とあっという間に終わってしまいます。今この時を是非お子さんと共に楽しんでくださいね。

これからも笑顔のあふれる楽しいおやこクラブが続きますように…♡

保健師さんからのメッセージ



岡山市おやクラブネットワーク40周年を迎えて

岡山市おやクラブネットワーク事務局長(岡山市保健所 健康づくり課) 土器 悦子

岡山市おやクラブネットワークが発足40周年という節目を、皆さんとともに迎えられることを、心からうれしく思います。

おやクラブの活動は、当時の保健師とお母さん方が「子育てをひとりで抱え込まないでほしい」「子どもたちに健やかに育てほしい」そんな願いを持ち寄って始まった活動でした。今日までたくさんのお母さん方、子どもたち、そして地域の方々が、このおやクラブを育て、支え、受け継いできてくださいました。つながりがつながりを呼んで、気がつけば40年。どれだけ多くの親子の時間がここに積み重ねられてきたのだろうと思うと胸が熱くなります。誰かがそばにいて、一緒に話ができたり、悩んだりできる。おやクラブはそんな安心できる場所として、お母さん方に寄り添ってきたのだと思います。その大切さはまた、コロナ禍により改めて気づかされました。

これまで支えてくださった多くの方々に深く感謝いたします。

この親子と地域の温かい時間がこれからもゆっくり積み重なっていきますように。



岡山市おやクラブネットワーク発足40周年に寄せて

岡山市保健所 健康づくり課 佐藤 千従

岡山市おやクラブネットワーク発足40周年おめでとうございます。

今回おやクラブの40周年記念事業を企画するにあたり、現理事さんをはじめおやクラブOBのお母さん方に集まっていたいただき、何回も話し合いをしました。「おやクラブに入ったことで、助けられたから恩返しをしたい」、「自分にできることがあれば協力したい」と皆さん熱心にいろいろなアイデアを出してくれました。おやクラブに入ったことで子育ての大変さを分かち合い、喜びとともに「仲間づくり」を大切にしてきたからこそ絆が深まり、おやクラブに熱い思いをもってくれているのだと思うと本当にうれしかったです。一緒に企画する時間はとても楽しく、濃厚な時間を過ごすことができました。40年間継続してきたおやクラブは、心地の良い素敵な親子を育む場所だと思います。これからも保健師はおやクラブの意義や良さを伝え、おやクラブを必要としている親子に声をかけ、地域で安心して子育てができるようにサポートしていきたいと思っています。



岡山市おやクラブネットワーク発足40周年に寄せて

岡山市保健所 健康づくり課 溝邊 紗代子

40周年を迎え、実行委員会を重ねる中で私自身、入庁してこれまで地区・ブロック・事務局の担当保健師を経験し、ともに悩み一緒に考え話し合いを重ねた思い出が走馬灯のようによみがえりました。当時みなさんとの話し合いは、悩みの尽きない子育て真っ最中の私にとっても学びの深いものでした。育休中におやクラブ活動へ保護者として参加した際には、なぜか行くたびに「おかえり」と言ってもらえているようでした。小さく生まれた長男は、病気がちでなかなか参加できなくて、「ようやく行ける」という思いがそう感じさせたのかもしれませんが。私自身もおやクラブの存在に救われた母の一人でした。

この40周年を機に聞かれたのは、おやクラブという存在が、そのひと時の母としてだけでなく、一人の女性として生涯にわたって影響を与えてくれるものだという事です。この魅力や思いを語り継ぐとともに、保健師として、保護者の方々の声を大切にして、親子が健やかに育ち合う岡山市を目指して地域づくりをすすめていきたいです。